

★日本歯科衛生士会専門研修(基本研修)に単位申請予定
(共催：公益社団法人東京都歯科衛生士会)



第1回



第2回



第3回

歯科衛生士研修会



対象

歯科衛生士

定員

各回 100名

事前申し込み制のWeb研修会です。Live配信のみで、振り返り配信の予定はありません。

※1 計3回実施。各回ごとに申込みが必要です。

※2 申込みをされた方には1週間以内にメールにてご連絡致します。

※3 Web研修会の詳細についてはホームページも合わせてご覧ください。

第1回 プログラム

研修コード **A2-1**

開催日時 令和5年7月23日(日) ①9:30～11:00 ②11:20～12:50

申込期間 令和5年5月22日(月)～7月10日(月)

① 楽しく育てよう!子どもの口腔機能

国立モンゴル医科大学 歯学部 客員教授 **岡崎好秀**

口腔機能発達不全症は、離乳食の与え方などの問題だけでなく、生活の中で口を使う機会が減少していることも要因となっています。子どもたちが楽しく実践できる口遊びや口腔機能との関連など、日々の歯科保健指導に活かせる内容をご紹介します。

② 歯科衛生士がアプローチできる 0歳からの食育指導

医療法人喜和会 中村歯科キッズデンタルパーク 副院長 歯科衛生士 **宮坂乙美**

乳幼児期は、歯・口の発育とともに食べる機能が目覚ましく発達する時期のため、口腔機能へのアプローチと同時に食育が重要です。歯科医院で、食育を実践するための基礎知識や具体的な指導方法を学びましょう。

第2回 プログラム

研修コード A2-2

開催日時 令和5年8月27日(日) ①9:30～11:00 ②11:20～12:50

申込期間 令和5年6月26日(月)～8月14日(月)

① 女性ホルモンと歯周病

日本大学歯学部附属歯科病院 歯科衛生士 川本亜紀

歯周病リスクが高くなる要因の一つとして女性ホルモンの変動が関与しているという報告があります。今回「月経周期」「妊娠期」「更年期」それぞれの口腔衛生管理についてお伝えします。

② 咬合が関係する口腔病変の理解と対応

北海道大学大学院 歯学研究院 歯周・歯内療法学教室 教授 菅谷 勉

障害のある人の口腔管理を行う上で、疾患特性から派生した咬合トラブルに悩まされることも少なくありません。咬合が要因の一つであるセメント質剥離や歯根破折など、歯周病と見誤りやすい病変について、その兆候や見分け方、歯科衛生士が行うべき対応などを学びます。

第3回 プログラム

研修コード A2-3

開催日時 令和5年10月1日(日) ①9:30～11:00 ②11:20～12:50

申込期間 令和5年7月31日(月)～9月19日(火)

① 歯周病とアルツハイマー型認知症の結びつき

九州大学大学院 歯学研究院 口腔常態制御学講座 准教授 武 洲

近年、歯周病は様々な全身疾患と関連していることが報告されています。その中でも歯周病とアルツハイマー型認知症の関わりについて、歯科衛生士が知っておきたい内容を詳しくお伝えします。

② 歯科衛生士の視点で考えるポリファーマシー対策

大阪大学大学院 歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授 野原幹司

高齢者や障害のある方と関わるうえで、近年、ポリファーマシー（薬によって生じる有害事象）に関する知識が歯科衛生士にも求められています。口腔衛生管理や嚥下訓練を行う際に必要な薬剤の基礎知識と具体的な対応方法について学びます。